学校番号	201

平成 31 年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高校生の美術 1（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・立体・版画」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと、目的や機能から考える「鑑賞」の分野について学習します。
・自分なりのアイデア、感じ方、見方、表現を深めていきましょう。
・表現形式の特性に注目し、線、形体、色彩などの要素を自分なりに工夫しましょう。
・お互いの作品を鑑賞しあい、作者の思いや表現に触れることで、他者の理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通じて美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 アイデアスケッチ 鑑賞活動やグループワークの様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	線について	【絵画】 線について/線の魅力 ◆人物、静物などのモチーフを線によって表現する。 ◆鉛筆、ペンと描画材を変え、さまざまなテクニックでそれぞれのモチーフを表現する。 ◆モチーフの再現でなく「表現」するためのものの見方、感じ方を考える。	○	○	○	○	a: 主題の追求 b: モチーフを表現することを理解したか。 c: 対象物から何を引き出したか d: 自発的・自主的な取り組みと持続性	◆作品 ◆学習態度 ◆その他(提出物等)
一学期	イラストレーション	【デザイン】 ◆テーマにそって、自分のオリジナルのイラストレーションを制作する。 ◆モダンテクニック(さまざまな偶然の効果を生かした技法)を体験する。 ◆アイデア、画面構成、彩色、仕上げを実制作を通じてマスターする。 ◆アイデア、伝えたいこと、を形にすること(自分を表現すること)を学ぶ。	○	○	○	○	a: 主題の追求 b: テーマを表現することを理解したか。 c: モダンテクニックを生かすことができたか。 d: 自発的・自主的な取り組みと持続性	◆作品 ◆学習態度 ◆その他(提出物等)
夏休み	鑑賞レポート	【鑑賞】 高校展を鑑賞し、鑑賞レポートを書く	○			○	a:関心を持った鑑賞 b: c: d:作品の理解	◆提出物(レポート)
二学期	うごくおもちゃをつくる	◆シンプルに車輪やプロペラが回るなどの動きのメカニズムを考え、幼稚園児などが遊べる、動くおもちゃを考える。 ◆木をカットし、サンドペーパーなどで美しく仕上げる。 ◆無垢の木の味わいを生かしながら、装飾を施し、見ても美しい作品に仕上げる。 ◆安全に道具を使用することを学ぶ。	○	○	○	○	a: 主題の追求 b: テーマを表現することを理解したか。 c: 安全に作業することができたか d: 自発的・自主的な取り組み、自分なりの工夫をこらせたか	◆作品 ◆学習態度 ◆その他(提出物等

三学期	コラグラフ制作	◆間接表現である版画の特性を理解し、自分のテーマを効果的に表現する。 ◆貼り付けるものの表面によっての違いを理解し、制作に生かす。 ◆版制作、刷りの工程を理解し、自分の作品を美しく仕上げる。 ◆完成作品を展示し、お互いの作品を鑑賞する。	○	○	○	○	a: 主題の追求 b: テーマを表現することを理解したか。 c: 版画の工程が理解できたか d: 自発的・自主的な取り組みと持続性	◆作品 ◆学習態度 ◆その他(提出物等

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。